

## 作業の進め方についての提案

2002 年 10 月 15 日  
KDDI 株式会社 澤田

### 1. 本資料の目的

これまで、全体的な議論として参加メンバー間での大枠の意識合わせ等を中心に進めてきたと思いますが、今後具体的な作業を進めるにあたっては検討の枠と体制を明確にし整備する必要があると認識しております。本資料においては、作業内容および検討体制を整理する上での項目案および体制案について提案いたします。

### 2. 作業項目案

これまでの分科会/研究会における議論で明確になったと考えられる今後必要な作業項目について本節に挙げます。

#### 2.1. Terminology

作成文書および分科会/研究会での議論における用語について整理し規定を行う。

#### 2.2. Objectives & Requirements

ENUM 技術を導入する目的と、それに付随する要求条件を検討の前提として整理して明文化する。これまでの議論の帰結から User-ENUM と Operator-ENUM のそれぞれにおいて別に整理されるものと想定。

#### 2.3. Document Editing

成果物となる報告書の作成を実施する。また、ドラフティングを通して課題の抽出と結果の反映を行う。

#### 2.4. Open Issues Management

ドラフティングや議論を通した中で提示された、または委員会メンバーから個別に提示された ENUM に関する技術的、制度的な課題点について具体的な形で整理し、その扱いについて決定する。作業においては、具体的な課題解決のプロセスを明確化するとともに、文書への反映漏れのチェック、決定プロセスを記録の参照、などを可能とすることをその目的とする。

### 3. 作業体制案

2節の作業項目案の整理に基づいた作業体制のひとつの案として図 1の通りの体制案概要を提案します。

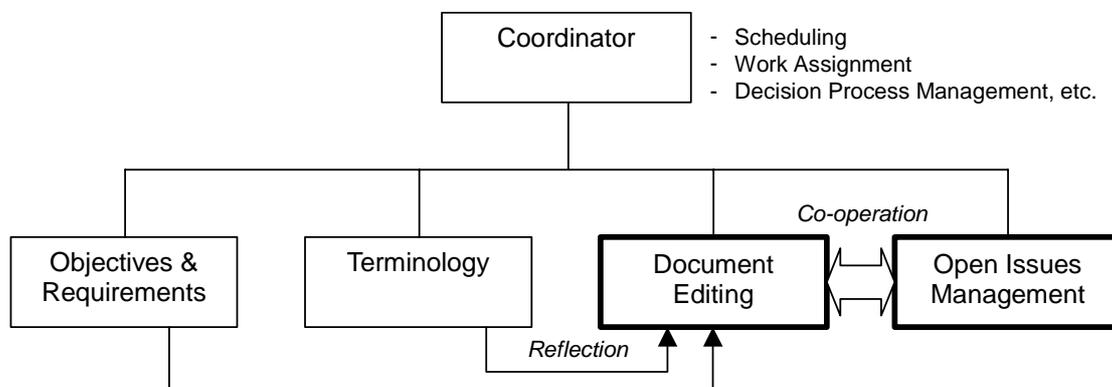


図 1 作業体制案

#### 4. 作業エリア案

表 1に想定される作業エリアの分類を示します。隣接する作業エリアにおいては、同じチームで問題解決にあたる方が効率的であることも想定されるため、作業チーム/担当の編成において考慮する必要があると考えています。

表 1 作業エリア分類

	Coordinate	Objectives & Requirements	Terminology	Document Editing	Open Issues Management
User-ENUM					
Operator-ENUM					

#### 5. まとめ

本資料の内容については、現段階における提案のひとつとして検討いただければ幸いです。ただし、今後の作業を進めるにあたっては何らかの枠組みの整理が必要だと考えています。

また、課題管理の方法に関しては別途提案いたしますので、併せて御確認御願ひ致します。

以上

## 課題の管理に関する提案

2002 年 10 月 15 日  
KDDI 株式会社 澤田

### 1. 本資料の目的

ENUM に関する検討の過程において、何らかの決定を必要とする各課題(Open Issues)が多数提示されることが想定されます。本資料においては、ENUM 研究グループ/分科会における課題管理についてのひとつつ方式について提案いたします。

### 2. 課題管理項目案

#### 2.1. 項目案

表 1に想定される課題に関する必要な管理項目を挙げます。

表 1 課題管理項目案

項目	内容	担当	時期
Issue No.	課題に付与する連番。User-ENUMと Operator-ENUMとで分けて管理されることを想定	管理者	Open 時
Title	課題の内容について、一読して分かるような題を規定	発行者	Open 時
Open Date	課題を Open した日付	発行者	Open 時
Problem Description	課題の内容について詳細を記述。	発行者	Open 時
Possible Solutions	想定される解決案について記述。複数の可能性について言及し、それぞれの利点欠点についてまとめられていることが望ましい。	発行者	Open 時
Correspondent	他の方式(User-ENUM, Operator-ENUM)において相当する課題が提出されている場合にその Issues No.を記述する。管理者は、課題が発行されたときに、別の方式においても対応する課題が存在するかどうかについて確認を行う。	管理者	Open 時
Priority	結論を出す緊急性について記述。	管理者	随時
Dependency	別の課題の結論が必要な場合に該当する Issue No.を記述	管理者	随時
Status	Close した場合にチェック。	管理者	Close 時
Close Date	課題を Close した日付。	管理者	Close 時
Final Resolution	結論および結論に至った過程を記述。	管理者	Close 時
Disposal	最終的な対処方法を記述。	管理者	Close 時
Obsolete By	重複するものであった場合や、課題を分割/統合して Close した場合に課題を引き継いだ Issues No.を記述。	管理者	Close 時

#### 2.2. 項目フォーマット案

##### 2.2.1. Issues No.

User-ENUM: u-XYZ (XYZ は 001-999 までの連番)

Operator-ENUM: o-XYZ (XYZ は 001-999 までの連番)

##### 2.2.2. Title

日本語の任意の文字列

#### 2.3. Open Date

日付形式 (yyyy"/mm"/dd)

## 2.4. Problem Description

任意の日本語

## 2.5. Possible Solutions

任意の日本語

## 2.6. Correspondent

User-ENUM: o-XYZ (XYZは001-999までの連番) もしくは値なし

Operator-ENUM: u-XYZ (XYZは001-999までの連番) もしくは値なし

## 2.7. Priority

以下のトークンから選択:

- CR : Critical - 解決に緊急性を要する課題
- MJ : Major - Dependencyが多い等、優先して検討が進められるべき課題
- MN : Minor - 優先度は低い但最终的には解決される必要がある課題
- INF : Informational - 時間的な理由で最終的に解決されなくても許容される課題

## 2.8. Dependency

User-ENUM: u-XYZ (XYZは001-999までの連番, 複数可) もしくは値なし

Operator-ENUM: o-XYZ (XYZは001-999までの連番, 複数可) もしくは値なし

## 2.9. Status

OPENもしくはCLOSE

## 2.10. Close Date

日付形式 (yyyy"/"mm"/"dd)

## 2.11. Final Resolution

任意の日本語

## 2.12. Disposal

以下のトークンから選択

- Valid : 策定文書に内容を盛り込む必要あり
- No-op : 策定文書に影響なし
- FFS : 今回の策定文書には盛り込まないが、将来的には解決される必要がある。
- Obsolete : 廃版
- Liaison : 別の検討団体にリエゾン

## 3. Template

Templateについては必要となった場合、別途検討し作成することを想定します。MS Wordファイル形式、Textファイル形式などが想定されます。

## 4. Database

課題管理 Databaseについては必要となった場合、別途検討し作成することを想定します。MS Excelファイル形式、MS Access等によるDB方式、Web Applicationによる管理等が想定されま

## 5. まとめ

本資料の内容については、現段階における提案のひとつとして検討いただければ幸いです。系統的な管理は行わない案も含めて、もっとシンプルなやり方も可能とは思いますが、研究グループメンバの知識内容やバックグラウンドの多様性を鑑みた場合には、ある程度のシステムティックな管理が必要ではないかと考えています。

以上

## ENUM 技術利用の目的と要求条件の整理について

2002 年 10 月 15 日  
KDDI 株式会社 澤田

### 1. 本資料の目的

ENUM 技術を利用するにあたっての目的と、それに付随する要求条件について整理することを目的に、User-ENUM と Operator-ENUM のそれぞれについての目的と要求条件の素案を記述します。

### 2. 適用領域

ENUM 技術の適用領域として、1) User-ENUM と 2) Operator-ENUM の 2 つの異なる領域が存在するものと認識しています。

### 3. User-ENUM

#### 3.1. 目的

- E.164 番号保有者が自身の指定する到達可能なサービス/リソースを公開する。
- E.164 番号ユーザへの音声サービスでの到達方法(リソース)の獲得。
- E.164 番号ユーザの持つ音声以外の到達方法(リソース: mail, Web Site 等)の獲得。

#### 3.2. 要求条件

- ユーザへの Openness と Fairness の確保。
- E.164 ユーザが要求する Privacy, Security レベルの確保。
- ENUM クライアントが要求する Privacy, Security レベルの確保。

### 4. Operator-ENUM

#### 4.1. 目的

- VoIP サービスを提供する VoIP ISP 間でのルーティング(N×N)を可能とする。
- PSTN から複数の VoIP ISP への着信ルーティングを可能とする。

#### 4.2. 要求条件

- ルーティング解決を保証するためのエントリの網羅性および完全性。
- 検索速度 (Performance)
- 規模 (Scalability)
- 信頼性 (Reliability)
- Security (外部の認証されない第 3 者からのアクセス防止)

### 5. まとめ

本資料の内容につきましては、別途提示しております作業の進め方の提案の中での位置付けも含めて御検討いただければ幸いです。

なお、本資料の内容については、第 2 回分科会 資料 3 (KDDI)をベースとしていますが、第 2 回分科会 資料 4 (NTT-Com)等の資料でも提示されている通り、“何を実現したいのか”ということの精査を含めて、さらに整理が必要と考えています。

以上